

令和5年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	共通採択方針	過疎	事業名	事業主体(市町村)	事業区分(ハード/ソフト)	事業費	補助金決定額	事業概要	実施時期	実施場所	備考
(会津地方振興局)													
1	新規	教育・文化	人づくり	○	喜多方市文化芸術創造都市推進事業	喜多方市	ソフト	4,604	3,453	喜多方の染型紙「会津型」デザインの活用をテーマに、デジタルデータの利活用や他分野との連携を図り、身近に文化財を感じる喜多方を実現し、文化芸術の持つ創造性を地域振興にいかす。 ・「会津型」×高校生をテーマに、市内施設のリ・デザイン ・会津型ウィークと題して、文化財×リ・デザインをテーマに展示会やトークイベントの開催 ・小学校低学年から体験可能なワークショップや段階別教育プログラム等を検討 ・会津型オープンデータの作成 ・文化芸術創造都市構想会議において、市民等と連携し、創造都市実現に向け、ビジョンの共有や具体的な事業の組み立てを行う。	R5.4.1～R6.3.8	喜多方市	
2	新規	教育・文化	人づくり	○	会津米沢街道・柏木城跡活用事業	北塩原村	ソフト	1,723	1,292	令和元年10月に歴史の道百選に選出された「会津米沢街道」と令和4年3月に国史跡に指定された「柏木城跡」の貴重な歴史・文化資源を活用し、交流人口の拡大や教材としての文化財への理解を深める。 ・会津米沢街道・柏木城跡の周辺環境整備 ・関連イベントの開催及び地元ガイドの育成 ・耶麻郡小沼組絵図の保存・修復による次世代への継承	R5.4.1～R6.1.15	北塩原村	
3	継続3	その他	人づくり	○	協働のまちづくりによる中心エリア魅力化・再生事業	西会津町	ソフト	5,857	3,326	官民連携・民民連携によるまちづくりを推進するため組織した「協働まちづくり推進委員会」が中心となり、町の中心部である野沢地区の再生計画づくりを進めるとともに、実際に町民主体の取組(事業)を企画・実現する。 ・外部アドバイザーを活用した人材育成と活性化・再生 ・中心エリアの活性化・再生 ・町民主体の取組(事業)の企画・実現	R5.4.1～R6.3.31	西会津町	
4	継続3	観光振興	人づくり	○	磐梯町HAKKOツーリズム事業	磐梯町	ソフト	598	448	磐梯町は、メジャー観光地に囲まれ、通過型の観光地となっている、また、コロナ禍の影響による観光客減少による地域経済への影響も少なくない。そこで、ライトアップイベントの「発光」、発酵食品の「発酵」、出発して目的地に向かう「発向」の3つのはっこうを合わせた「HAKKOツーリズム」(史跡慧日寺エリアを中心に町内を周遊及び滞在させるイベント)を開催し、地域の活性化を図る。 ・ライトアップデザイン ・ライトアップイベント開催 ・周遊イベント開催(スタンプラリー等)	R5.4.18～R6.2.5	磐梯町	
5	継続3	観光振興	人づくり	○	地域の魅力発信及び周遊促進事業	猪苗代町	ソフト	7,754	5,815	猪苗代町は、磐梯山や猪苗代湖などの自然環境に恵まれ、四季を通じたアクティビティや自然を楽しむことができる観光地である一方で、県外からの認知度は低く、観光地間が離れていることから周遊性も低い。地域や地域に住んでいる人の魅力を発信するYoutube動画を作成し、撮影した施設の紹介を行うパンフレットやスタンプラリー等を実施する。 ・動画発信による魅力発信事業 ・ポスター掲出による魅力発信事業 ・地域周遊促進事業	R5.4.1～R6.3.25	猪苗代町	

令和5年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	共通採択方針	過疎	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所	備考
6	新規	交流・定住	移住・定住	○	猪苗代町ワーケーション研修プログラム事業	猪苗代町	ソフト	1,040	779	地方移住に興味を持つ首都圏在住者を誘致し、地域住民と共に地域課題の解決等を行うことで、関係人口の創出及び移住・定住の増加を図る。 ・町内施設での研修型ワーケーションの実施 ・地域事業者とのフィールドワーク、交流 ・移住につながるブランディングの考案と課題の整理	R5.4.1～R6.3.28	猪苗代町	
7	新規	産業振興	地産地消	○	会津湯川米ブランド化推進事業	湯川村	ソフト	8,605	6,259	近年ふるさと納税等により知名度が向上している湯川米について、画一的な基準を設けることで、更なる品質向上を図る。 また、消費者とのコミュニケーションを図ることで、農業従事者のモチベーション向上につなげ、基幹産業である稲作農業からの地域活性化を図る。 ・会津湯川米ブランディング(ロゴデザインやシール・米袋の作成) ・実証販売会の実施 ・湯川版栽培歴の作成 ・食味分析	R5.4.3～R6.3.25	首都圏、県内、湯川村	
8	継続3	産業振興	地産地消	○	観光客誘客促進事業	柳津町	ソフト	2,495	1,866	柳津町は新型コロナウイルス感染症により、観光業だけでなく、米価の下落といった農業等においても大きな影響を受けている。さらに、昨今の物価上昇の影響により、厳しい状況は継続すると考えられる。 観光業だけでなく、地域農業と連携したイベントを継続して開催することで、地域経済の活性化及び地域の活力・賑わいの創出を図る。 ・農商工連携イベント ・花火打ち上げ ・周遊バス運行 ・動画を活用したweb広告	R5.4.1～R6.3.29	柳津町	
9	継続2	環境・景観	人づくり	○	美坂高原「日本一の星空」事業	三島町	ソフト	2,530	2,000	奥会津は光害にさらされておらず、「日本一の星空の里」長野県阿智村に勝とも劣らない天体観測の国内最適地であると公表している。光害の少なさは民家や建物の少なさに比例し、過疎化が進んでいることと関係しているが、それを逆手に取り、光害の少なさを固有の地域資源ととらえ、美坂高原を「日本一の星空観測地」として県内外に浸透させ、新しい地域づくりを促進する。 ・国立天文台の講師を招いて天体観測の実施 ・星空ヨガなどのイベントの実施 ・モニターツアーの実施 ・地場産品マルシェの開催	R5.4.1～R6.2.27	三島町	

令和5年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	共通採択方針	過疎	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所	備考
10	継続3	人材育成	移住・定住	○	奥会津かねやま移住定住促進事業	金山町	ソフト	4,999	3,326	金山町は人口の減少、高齢化の進行により担い手不足が深刻化している。3大都市圏を中心とした都市等に居住する住民に移住を呼びかけ、集落の担い手の確保及び集落の維持継続を図る。 ・移住希望者を対象とした、AIを活用したチャットによる相談システムの運用 ・空き家等地図管理システムによる移住希望者への情報提供 ・移住定住を促進するための体験ツアーの実施 ・移住相談センターの運営開始 ・移住コーディネーター兼定住生活サポーターの人材の配置、育成及び任命 ・特集を媒体やパンフレットを作成し移住希望者への情報提供 ・SNS広告による情報発信	R5.4.1～R6.3.29	金山町	
11	新規	その他	人づくり	○	自然教育村会館(旧玉梨小学校)活用・活性化事業	金山町	ソフト	2,260	1,695	金山町「自然教育村会館」は、旧玉梨小学校の廃校に伴い昭和51年に金山町での生活体験ができる施設としてリニューアルされ、宿泊施設等として利用されてきた。しかし、老朽化に加え、現代のニーズに合った有効活用を図るため令和5年度から改修が行われることを契機に、町、地域の歴史・文化の継承の拠点、かつ、地域文化資源を活かした未来志向の創造的活動の場として育てるため、以下の事業を展開する。 ・町民向け講習会、ワークショップの開催 (文化財・民具等の保存及び活用や、次世代に対する記憶の伝承を担う人材の育成。新たな展示の仕方を検討するワークショップ、模型制作) ・子どもや移住者向けのイベント、ワークショップの開催 (食に関する文化財、民具等をテーマとした企画)	R5.6.1～R6.3.29	金山町	
12	継続3	産業振興	地産地消	○	喰丸小を使って起業！シビックプライドと関係人口の創出・醸成	昭和村	ソフト	5,039	3,349	昭和村では高齢化や生産年齢人口の減少が進行している。喰丸小を拠点に、村の特産品を利用した商品開発や起業支援を通して、本村の地域活性化を目指す。 また、SNSなどを利用した情報発信・交流を通して、関係人口の増加を図るとともに、すでに関係人口となっている人たちには、その先にある移住に関心を持ってもらうためのPRを行う。 ・シビックプライド創出・醸成のための喰丸小を活用した起業支援事業 ・関係人口の創出・醸成のための昭和村モニターツアー、PR動画作成	R5.4.1～R6.3.29	昭和村	
13	新規	交流・定住	人づくり	○	からむし織体験生30周年記念事業 からむしの学校「先生・生徒の感謝祭」(平成から令和に世代をつなぐ)	昭和村	ソフト	2,285	1,696	平成6年度に発足した「からむし織体験生事業」は、令和5年度に30周年の節目を迎える。これを契機として、その成果を多方面から考える機会を「感謝祭」という形で設け、流動的な時世の中で、外部人材(関係人口・元体験生)や移住者などのつながりを活かしながら、交流の深化を図り今後の地域活性化につなげる。 ・昭和村からむし織体験生盛り上げチームの結成 ・からむし及び作品の先行展示 ・記念シンポジウム ・歴代体験生による作品展 ・歴代体験生の共同作業による布の作成 ・からむし織の里フェア、からむし織の里雪まつりにおける体験イベント、事業周知	R5.4.10～R6.3.31	昭和村	

令和5年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	共通採択方針	過疎	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所	備考
14	継続 2	教育・文化	人づくり	○	郷土資料館を拠点とした歴史まちづくり事業	会津美里町	ソフト・ハード	4,930	3,643	旧新鶴庁舎を郷土資料館にリフォームして、地域住民の歴史文化に対する意識醸成や子どもへの地域教育の推進、観光等の情報発信の拠点となる施設として、歴史と文化のまちづくりを進め、地域の活性化や人流の促進を図る。 ・シンポジウムの開催 ・展示室の作り込み ・愛称の募集 ・開館記念行事の開催 ・企画展の開催	R5.4.1～R6.3.31	会津美里町	
15	継続 3	教育・文化	人づくり	○	地域人材を活用したICTプログラミング教育	会津地域プログラミング教育推進委員会 プログラミング授業部会	ソフト	1,227	957	地元ICT企業やICT専門大学の学生を小中学校に派遣することで、プログラミングやエンジニアの凄さを体感するとともに、地元企業や大学の認知度向上による将来の地元就職や定着につなげる。 ・プログラミング教育専門パソコンを活用した講義の実施 計20回 ・対象者:会津管内の小中学校	R5.4.1～R6.3.31	湯川村、三島町、金山町、昭和村	
16	継続 2	産業振興	地産地消	○	まんてん会津プロモーションプロジェクト事業	会津地域経済循環推進協議会	ソフト	2,650	2,054	会津の豊富な農産物や加工品等の素材の掘り起こしや販路拡大を目的に、首都圏の飲食店において会津の食材を活用したフェアを行う。また、同時に域内でのマルシェを開催することで、地域内での会津産食材の魅力の再発見や域内消費の拡大に繋げる。 ・さいたま市の飲食店で会津17市町村の食材を活用した「まんてん会津フェア」を開催(地域外プロモーション) ・上記フェアと併せた試食販売会の実施 ・まんてん会津マルシェの開催(地域内プロモーション) ・PR動画やSNS広告によるプロモーション	R5.5.1～R6.3.31	首都圏(さいたま市)、会津17市町村	
17	継続 2	産業振興	人づくり	○	奥会津地域資源利活用推進事業	奥会津五町村活性化協議会	ソフト	6,244	4,994	奥会津5町村においての森林資源や空き家などの地域資源は、人材やノウハウの不足から利活用が十分に図られていない。森林資源を中心とした地域資源の活用方法を地域全体で学び、人材や組織を育成し、実証事業を行うことで地域活性化につなげる。 ・森林資源の利活用事業 検討会議、現地研修、流通に向けた実証事業の実施 ・空き家の利活用事業 検討会議、古材や古道具活用に向けた実証事業	R5.4.13～R6.3.29	奥会津(柳津町・三島町・金山町・昭和村)	
18	新規	産業振興	地産地消	○	ふくしま3大鶏振興事業	ふくしま三大鶏振興協議会	ソフト	5,964	4,771	福島県には、会津地鶏(三島町)・川俣シャモ(川俣町)・伊達鶏(伊達市)と3種類のブランド鶏があり、それぞれ県内や首都圏の飲食店や旅館等で扱われている高品質の鳥肉であり、飲食業界でも注目度の高い食材である。一方、地元以外の消費者には認知度の低い食材となっている。これまでは、それぞれの自治体単位でのPRや販売促進を行っていたが、所在自治体を始め、生産者及び加工業者等が市町村の枠を超え「ふくしま三大鶏のイベント」を各自自治体持ち回りで開催し、ふくしま三大鶏をより多くの方にPRし、今後の販売促進につなげていく。 ・ふくしま三大鶏販売促進イベントの開催	R5.4.1～R6.3.27	三島町、伊達市、川俣町	

令和5年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行結果報告書(市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	分野	共通採択方針	過疎	事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所	備考
19	継続3	保健・福祉	健康長寿	○	食のイメージアップ推進事業	西会津町	ソフト	1,029	719	コロナ禍での試食を伴う活動自粛などにより食への関心を高めるための取組みが必要となっている中で、コロナ収束後の活動を見据えた食の魅力発信とイメージアップを図り、減塩や野菜摂取量の増加につなげる。 ・食生活改善推進員、子育て世代の方々向けに食のイメージアップ講演会の実施 ・町の米粉を利用した料理の考案と町民健康カレンダーへの掲載 ・郷土料理レシピ集を活用したCATVの製作と動画配信 ・郷土料理の普及	R5.4.1～R6.3.29	西会津町	健康関連事業
20	継続2	保健・福祉	健康長寿	○	「さすけねえわ(輪)」を拡げる「健康づくりサポーター」支援事業	西会津町	ソフト	3,460	2,249	町民が健康を自分事として捉え、からだ・心・つながりの3つの健康が満たされる生活を送ることができるよう、町民が自ら活動できる環境づくりと、モチベーションの向上、計画から事業化までのプロセスを通じたまちづくりへの参画意識の醸成などを行い、将来的には健康づくりを町内へ拡げるサポーターとして行政と共に活動できる人材の育成を図る。 ・健康づくりについてのワークショップ ・上記を通じて町民自らが発案した企画の実施	R5.4.1～R6.3.31	西会津町	健康関連事業
21	継続3	保健・福祉	健康長寿	○	温故知新・先人の知恵に学び生きる力を育む事業	柳津町	ソフト	4,001	2,400	コロナ禍の影響を受け、心と体の健康バランスを保つために個人それぞれが生きる力を備え、社会情勢に左右されない強さが必要となっている。奥会津で代々引き継がれてきた生活の知恵や地域の価値を再発見し生きる力の継承と地域社会のレジリエンス向上に取り組むとともに、内外に向けた共感と発信を促しながら持続可能な生活圏の基盤づくりを目標とする。 ・奥会津の先人たちの知恵を学ぶ手仕事や伝統食材をテーマとした講座の開催 ・高齢者を対象とした心と体の健康を保つ教室の開催 ・小学生を対象とした生きる力を身につける体験学習の開催 ・地域内外に向けた共感と発信に向けたコンテンツづくりの実施	R5.5.1～R6.3.29	柳津町	健康関連事業
22	継続3	保健・福祉	健康長寿	○	三島町ウェルネスタウン事業～健康づくり×地域活性化プロジェクト～	三島町	ソフト	3,897	2,728	人口減少、少子高齢化の進行や新型コロナウイルス感染症の影響により、地域全体の活力低下が喫緊の課題である中、「健康」を原点とし、地域の経済や町づくり等を連携し掛け合わせることで、町民が「自然体でいきいきとした豊かで健やかな暮らし」が実現できる町を目指す。 ・活動量計を活用した健康づくりに関するデータ収集 ・「健康づくりマイスター」の認証 ・地元食材を使用した「食と健康」をテーマとした健康料理教室や、商品開発 ・地域の価値を再発見するウォーキングの開催	R5.4.1～R6.3.31	三島町	健康関連事業
累計					(会津地方振興局)	22件		83,191	59,819				